

# DF技術部会<医療懇話会>

## ☆懇話会の目的

会員に役立つ最新の医療をわかり易く解説する

## ☆演題分野

癌治療・救急医療・介護・高齢疾患・特別講演・他

## ☆講演講師

大学病院及び基幹病院の専門的立場の医師

## ☆開催月

年間3回(4月、6月、12月)⇒8月、12月

## ☆参加対象

DF技術部会メンバー(約100名)

## ☆技術部会

- \*経済産業懇話会
- \*リスクセンス研究会
- \*医療懇話会
- \*理科実験グループ

## ☆世話役

・佐藤和恵    ・鶴岡正吉    ・赤堀智行

# 医療講演テーマ（2016年以降）

救急医療	癌治療	介護関連
救急医療と脳血管障害	消化器疾患と内視鏡	地域包括ケア
救急と延命治療	最新の癌治療(免疫療法)	共生社会
コロナ感染下における医療体制の現状と課題	癌を知る「乳癌」	介護の現状と課題

高齢疾患	部会内講演	特別講演
加齢と眼科	痛みー不思議な感覚	コロナウィルス総論
整形外科疾患	老化とは カカオハスクの抗酸化作用	地域ケアサービスの現状と課題
高齢化と歯科医療	高齢者の健康・経済	
健康に寄与する口腔講座	排尿障害の原因と治療	

# 2025年度医療講演

## ◆8月度 「漢方の世界について」

---漢方の歴史及び西洋医学との違い中心に---

- ・漢方の世界
- ・漢方の歴史
- ・漢方と西洋医学の違い
- ・漢方の臨床的有用性

\*開催:8月26日(火) 15:00-16:30

\*北里大学北里研究所病院

漢方鍼灸治療センター 緒方 千秋先生

## ◆12月度 「からだの科学全般」

からだの不思議---癌、痛み、脳、筋肉、脳

\*開催:12月5日(金) 15:00-16:30

\*演題:「錯覚はなぜ起こる？」

\*医療懇話会 鶴岡正吉氏

# 今後の医療懇話会

## <日本の医療問題>

- \* 2025年問題： [労働力・医療・介護・社会保障費・空き家]
- \* 医学教育
- \* 医療保険制度と診療報酬制度
- \* 低医療政策による医療崩壊

## <漢方医学と西洋医学の融合>

現代医療の漢方医学や漢方薬は、日本の伝統医学として  
発展した「日本独自の医学」である。

今後は、西洋医学との融合で病態に応じた効果がより期待される

# 2026年取り組む医療課題

- ◆75歳以上 国民の4人に1人(2200万人↑)
- ◆問題のポイント [人口と労働力・医療・介護・社会保障費・空き家]
  - \***労働力不足**:約600万(情報通信・卸売・農林水産・運輸・建設・金融不動産)
  - \***医療**:**医療・介護サービスの利用急増**⇒病院・医師の減少、医師NSの人手不足  
医療保険給付54兆円(日本の現財力では無理)
  - \***介護**:人材(必要人材250万人、確保210万人)⇒介護難民の急増  
認知症---高齢者の20% 「介護人材不足」「老老介護」「認認介護」
  - \***社会保障費**:  
140兆円 受給金額の減少と支給年齢の引き上げ⇒年金制度の破綻か
  - \***空き家**:  
2017年築50年マンションは5.5万戸、2025年には30万戸⇒空き家問題  
全体では、1,000万戸に近づく
- ◆<漢方医学と西洋医学の融合>